

広報

水清く 人情のあつい あずましの里



Kuroishi public relations

くろいし

2025

1

No.1370



黒石の魅力はへび一級!!

今年もよろしく
お願いします



1月の日程

内容	相談日	時間	場所・問合せ
福祉	月～金曜日	9:00～17:00	市社会福祉協議会「ふれあい相談所」 ☎52-9600
生活困窮	月～金曜日	8:15～17:00	市社会福祉協議会「黒石市自立相談支援窓口」 ☎52-9600
家庭・婦人・母子	月～金曜日	8:15～17:00	子育て支援課子育て支援係
後期高齢者	27日(月)	19:00まで	国保年金課高齢医療係*
介護保険	27日(月)	19:00まで	介護保険課介護保険係*
教育	月～金曜日	9:00～16:00	指導課
青少年問題	月～金曜日	9:00～16:00	市青少年相談センター(社会教育課内) ☎52-2876
水道料金(夜間)	31日(金)	19:30まで	上下水道課総務係
健康	6日(月)・20日(月)	10:00～12:00	健康推進課
こころ(小さな相談室)	20日(月)	10:00～15:00	松の湯交流館 ※予約不要、当日会場へ
納税(夜間)	6日(月)・15日(水)・27日(月)	19:00まで	税務課収納債権係*
困りごと	14日(火)・27日(月)	9:00～15:00	市役所わのまちセンター 1階多目的室
法テラス法律	22日(水)	9:30～12:00	▼困りごと相談は当日8時15分から市民環境課 交通生活係で電話受付
人権	15日(水)	10:00～15:00	▼法テラス法律相談は法テラス青森へ要事前予約 ☎050-3383-5552
行政	16日(木)	10:00～12:00	▼人権・行政・土地家屋調査士は予約不要
土地家屋調査士	8日(水)	13:00～16:00	
消費者	火～日曜日	8:30～17:00	弘前市市民生活センター「弘前圏域消費生活相談窓口」☎34-3179
	月～金曜日	9:00～17:00	市民環境課交通生活係

* LINEで予約が可能となりました。本紙裏表紙に掲載している二次元コードから「黒石市」を友だち追加して「申請・予約」からお申し込みください。

家庭から出る燃やせるごみ排出量

市民1人1日当たり

市1か月全体で
約36トンの増

令和6年
10月 **448g**

前年同月比 約38g増



お正月や二十歳のお祝いで家族や友人との会食が増える時期です。つい料理をたくさん用意したり、会食に夢中で食べ残したりと、まだ食べられるのに捨てていませんか。

料理を食べ残さないために、会食の最初30分と最後の10分は席を立たずに料理を食べ切る「30・10(さんまる・いちまる)運動」を心掛けましょう。

【問合せ】市民環境課環境衛生係

市税の納付

1月は次の市税の納付月です。

▼国民健康保険税 ……………第7期
納期限 1月31日(金)

【問合せ】税務課納税管理係

前月比



世帯数 14,023世帯 (-1)

市の人口 30,469人 (-41)

住民基本台帳調べ 11月末現在

SNSアカウント「Visit Kuroishi」では市の観光情報や魅力を発信しています。

歴史&文化



YouTube

観光&イベント



Instagram

あずましの里くろいし観光大使
にゃんごすたー
©にゃんごすたー



1月のくろいし健康マイレージ対象事業

くろいし健康マイレージは、健（検）診の受診や健康づくり事業などへの参加でポイントをためると、景品の抽選への応募や協賛店サービスが利用できます。

	事業名	日程	場所
5 ポイント	地域健康づくり相談事業（地域健康づくり活動）	月1回 ※詳しくは本紙19ページをごらんください。	各公民館
	出前運動教室	1月15日(水)13:30～15:00	上十川公民館
		1月16日(木)13:30～15:00	山形公民館
	健康教室 テーマ「糖尿病について」 講師：北山 武良先生(ちとせクリニック院長)	1月21日(火)13:30～14:30	西部地区センター

ポイント付与・協賛店サービス利用期間のお知らせ

マイレージポイントの付与・協賛店サービス利用期間は1月31日(金)までです。期間終了まで残りわずかですので、ぜひ個別医療機関での健診受診や健康づくりに取り組み、くろいし健康マイレージに参加しましょう。

健康都市宣言商品券の利用をお忘れなく！

市は、くろいし健康マイレージの当選者に市内の健康都市宣言協賛店で使用できる「健康都市宣言商品券」をお渡ししています。利用期間は発行から5年間ですので、忘れずにご利用ください。

日曜日の市内救急当番医

1月5日	山谷胃腸科内科	☎54-8370
1月12日	ちとせクリニック	☎53-7228
1月19日	黒石病院	☎52-2121
1月26日	兼平医院	☎52-3305
2月2日	たかはし内科循環器科クリニック	☎59-2200

※診療科により受け入れできない場合がありますので、あらかじめ電話でご確認ください。
※黒石病院では救急車の受け入れも行っているため、救急搬送の患者を優先する場合があります。

休日・夜間の急病に対応します

	休日	夜間
診療科目	内科・小児科・外科	内科・小児科
診療日	日曜日、祝日、8月13日、12月31日～1月3日	年中無休
診療時間	10:00～16:00	19:00～22:30

[問合せ] 弘前市急患診療所 ☎34-1131

1月の転倒骨折予防・認知症予防教室

市内在住のおおむね65歳以上の人を対象に、無料で開催しています（申込不要）。

▼22日(水) 13:30～15:00

老人福祉センター

※動きやすい服装で、飲み物やタオル等を持参し、参加してください。

[問合せ] 市地域包括支援センター包括支援係

1月の「あすなろの森」

「あすなろの森」は、さまざまな理由で家に引きこもりがちになっている人のための居場所です。（社福）報徳会が行っている『「わ」のカフェ～身近な誰かが身近な誰かを支える交流の場～』と共同で開催します。

▼9日(木) 13:30～15:30

松の湯交流館

[問合せ] 市社会福祉協議会 ☎52-9600



市ではホームページやSNSを活用し、さまざまな情報を発信しています。

黒石市

市ホームページ



新着情報
&
トピックス



Facebook

婚活
&
移住・定住
イベント情報



Instagram

新春座談会 外国人観光客の誘客推進について



村上 陽心氏

齋川 蘭子氏

黒石市長
高樋 憲

ジョイ・ユー氏

鳴海 信宏氏

NPO法人 横町十文字まちそだて会理事長
村上 陽心氏

横町十文字まちそだて会は、まち歩きツアーや食のプロモーションなど、地域の宝物を活かした黒石らしいまちづくりを目指し活動している。村上氏は「レストラン御幸」のほか「田舎の隠れ家 Cottage Hideaway」を経営。

国際交流員

ジョイ・ユー氏

オーストラリア出身で、英語、中国語、日本語が話せる。8月から国際交流員として市へ派遣され、観光課で外国人誘客事業や国際交流事業のサポートを行っている。

KNOCK² WORLD リーダー
齋川 蘭子氏

KNOCK² WORLDは市内の事業主の有志による団体で、「黒石愛でつながり、世界の扉をノックする」という理念のもと、観光客や海外に向けた情報発信を行っている。齋川氏は「旅の宿 齋川」を経営。

黒石物産協会会長

鳴海 信宏氏

黒石物産協会は、姉妹都市の宮古市で開催される産業まつりなど、県外のイベントに出店し、物産販売などを通じて、市のPR活動を行っている。鳴海氏は「鳴海醸造店」を経営。

市長

あけましておめでとーございます。本日は、各分野でご活躍されている皆様を迎え、「外国人観光客の誘客推進について」をテーマに、海外の観光客のニーズや地域の魅力発信、課題などについて語り合いたいと思います。

当市はこれまでも、観光という分野に力を入れてきましたが、近年は日本へ来る外国人旅行者が増えており、当市も海外からの観光客の受け入れ体制や誘客に向けた取り組みをさらに強化していかなくてはならないと考えています。

外国人観光客のニーズとトレンドについて

市長

最近SNSの影響もあるのか、黒石に興味を持って訪れる外国人観光客が多いように感じます。皆さんは、ニーズやトレンドについてどのように考えていますか。

最近のお話をすると、秋の中野もみじ山のライトアップは、国内より海外からの観光客の方が多いように感じました。

日本を何度も訪れている外国人は、東京、大阪、北海道など大都市はすでに行っているの、今回は誰も行っていないような場所に行つてSNSに投稿しよう、そういう方が多いように感じています。

ジョイ

私が思うニーズは4つで、1つ目は言語サポートです。理解できる言語の看板、パンフレット、ウェブサイトを、レストランのメニューなどが必要だと思います。2つ目は移動手段です。黒石には車だとすぐ来れますが、公共交通機関だとだいぶ時間がかかりますので、公共交通機関を使う外国人にとつては来づらいのかなと思います。3つ目はキャッシュレス決済で、とてもニーズが高いと思います。4つ目は、宿泊施設で、ウェブサイトに外国語に対応し簡単に予約を取ることができれば、観光客が増えると思います。

齋川

ニーズは、その土地に根ざしたものではないかなと思います。

都会は何でもあって、すごく便利ですが、田舎は土地に根ざしたものであったり、人とか、その地域の感じがあると思うんですね。こけしや津軽塗り、食べ物もそうですけど、私たちの生活と一緒にある日常が、海外の人には魅力的に感じられるのかなと思います。

鳴海

私は数年前に飛騨高山白川郷に行きました。外国人向けの標識やフリーWiFiがあつたり、キャッシュレス決済も多く、外国人観光客に対して非常に進んでいる

など実感しました。黒石もそういったものに近づけていけばいいと思います。

市長 今の黒石には海外の方が興味を持つ要素はたくさんあるのですが、うまく情報が伝わってないのだと思います。それと同時に、キャンセル決済も完全には浸透しておらず、発展途上というのが現状ですね。交通もなかなか対応しきれていないですし、宿泊施設もまだ広がりを見せていないと感じています。

情報発信について

市長 皆さんは情報発信についてどうにお考えですか。

鳴海 私はSNSをやっています、自分の商売以外にも黒石のお祭りやいろいろな行事、また広域的なイベント等の情報発信も行っています。国内からの問い合わせや取材も来ていて、先日は歴史のある酒屋を取材したいという海外の方の対応をさせていただきました。私の宿に宿泊した方とお話してみると、八甲田周辺で探してたまにたま来たという方が多かったです。

齋川 いらっちゃってから、津軽烏城焼や津軽こけし館、金平成園や中

町こみせ通りなどを紹介しましたが、海外の方が宿泊した施設からの発信も重要だと思っています。また、観光協会さんのホームページを見て来ましたという方もいらっしゃいましたので、そうしたホームページの充実も大切だと思います。

黒石はすごい魅力的で、観光地化していないところやアットホームな感じを経験したかったというお話をしていました。

最近SNSやグローバルな旅行サイトもありますので、口コミで徐々に広がっているのかなと思っています。

村上

今は完全にSNSでしか発信していません。宿泊にいらっしゃる方も外国人が多くて、旅行サイトからの予約ですし、手作り雑貨制作を体験できるRODOROさんにも多くの外国人がいらっしゃいますが、ほとんどがSNSやホームページを見て来ています。来た方が満足して高い評価や良い口コミを書いてくださることも重要です。そうした仕掛けをしていくともっと来てくれるのではないかと思います。

それと、旅行する時はインターネットなどで「青森・観光」「青森・食べ物」などを検索して入って



くると思いますので、旅の目的として選ばれる拠点、検索した時に出てくるようなコンテンツをもっと増やしていけたらと思います。

ジイ

海外へ情報発信する場合、まずは黒石自体を知ってもらうことが必要だと思います。そのためには、ユーチューブやインスタグラムなどのSNSを使って、魅力を発信していくと思います。

その次は、交通アクセスの情報が必要だと思います。車以外の交通手段についても、情報をもっと出していけたらいいなと思っています。

市長

ネットで検索するときに、黒石は何にも知らない人は「黒石市」では検索をしないですよ。さっき齋川さんからもお話ありましたが「八甲田」や「紅葉」と検索した時に黒石につながる、「こけし」や「伝統工芸」と検索した時に黒石につながるということはあると思います。

これから情報を広げていくためにも、黒石という表現でやっても効果は薄い。興味を持つものを検索した時に、うまくそれに黒石がつながるような仕組み、時代に合わせた考え方や、やり方をしていかなければいけないと思っています。極端なところで行くと、青荷温泉は携帯電話が通じない、テレビもない、夜は暗い。でもそれが人気なわけですよ。合理的な時代の中で、全く逆行していることが、すごく居心地がいいと感じていると思うんです。それぞれニーズは違うと思いますが、サービスを整理して、外国人の観光客に満足していただけのようなサービスや仕組みを作っておけば、それが自然とSNSで広がっていくと思います。

情報発信の部分で、何か提案はありますか。

ジイ

黒石のユニークなところを、インフルエンサーに体験してもらって



ユーチューブなどで発信すると、海外からもっと誘客できると思います。また、 구글マップに掲載される交通情報を増やしたり、宿の予約も電話だけではなく、海外向けのウェブサイトやメールがあれば外国人の方に優しいと思います。

村上

黒石のユーチューブでもっと発信する舞台を作ってもいいのかなと思います。まだやってないに等しいので、あったら観光客が増える可能性はありますよね。

10月に市の公式ラインができましたので、そういうのと紐付けして、誰か先に立ってユーチューブを発信していけばいいと思います。齋川 今お話があったようなことプラス、どこか国を決めてその国に直接行ってPRして、それをユーチューブに投稿するというのもいいと思います。プラスアルファしてやると効果的かなと。

鳴海

さっきお話にあったとおり、旅の目的、拠点となる場所がどんどん



出てくるといいのかなと。それと、観光シーズンは周遊バスなどがあればいいと思います。

ジョイ

魅力はどのように感じていますか。スキーとスノーボードは、オーストラリア人にはすごい人気で、八甲田には樹氷もあるというのは魅力です。そこで、そこをもっとPRできると、周辺の黒石のPRにもなると思います。また、交通アクセスや宿泊施設をもっと海外向けの対応にできたらいいと思います。

市長

やはり、黒石で検索ということはなかなかなくて、例えば「祭り」や「スキー」で調べた時に、黒石や市のホームページにつながっていくという仕組みをしっかりと作り上げることが大切だと思います。そのためにも、常に情報を更新し、SNSにうまくつなげていくということ、それと合わせて、皆さんにも常に情報発信というものに意識を持った体制を考えてもらうということが大事なのではないかと考えています。今日皆さんのお話を聞いたうえで、行政も課題を絞りながら取り組みの強化に努めていかなければいけないと改めて認識させていただきました。

課題や行政への提案

市長

最後に皆様方から、黒石市に対して、提案などがございましたらお願いします。

ジョイ

黒石に来る前はユーチューブで検索してもねぶた祭りや黒石よされが出てこなかったの知りませんでした。参加してほしいと思いましたが、もっと多くの人に参加してほしいと思えました。ですので、ユーチューブでのPRにもっと力を入れるといいと思います。

それと、私は翻訳ができますので、お祭りの情報やウェブサイトで、レストランのメニュー、施設の情報など、翻訳が必要なものがあれば、ぜひぜひ力になりたいです。

村上

ユーチューブなどを行政と協力して作って、それを翻訳してもらおうというのも可能性としてはあるのかなと思います。私たちも一緒にやれるように考えていきたいと思えます。

齋川

宿泊施設が足りないというのが今後の課題になってくると思います。温泉郷の方もまだまだ活用できそうな空き家がたくさんありますので、移住する方や宿泊施設に活用する方に、補助金を出すなど、住



鳴海

イン스타그램やホームページにつながるような外国人向けのパンフレットや、外国人向けの表記などが少しずつ増えてくると、もっと外国人にとって優しい町になるのかなと思います。

市長

ありがとうございます。情報発信は、黒石だけではなく、どの自治体においても大きな課題です。まずは黒石を知ってもらうために、どうやっていくと実効性があるのかということを考えないといけないと思います。

これからの日本の経済を引っ張っていく大きな力の一つは観光だと思えますので、当市もさらに力を入れて、市内を元気にするべく努力していきたいと考えています。今後とも皆様方のご指導をよろしくお願いいたします。本日は、誠にありがとうございました。

生き生きと笑顔で過ごせる地域社会へ



黒石市長 高橋 憲

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

市民の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。また、日頃より市政へのご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

令和7年、地域社会が市民の多様性に対して寛容であることにより、子どもから高齢者まで、市民一人ひとりが地域の未来に明るい希望を持つことができるような持続的なウェルビーイング（心身の健康と幸福）の実現に向けて取り組んでまいります。

まず、本年より、幼少期の子どもから高齢者までの幅広い世代が共に学びの場を創る（仮称）子ども美術館の建設に着手します。令和8年度の開館を目指す当施設は、世界に羽ばたく人材の育成と多世代の交流による生涯学習の実現のため、アート教育の場と芸術活動の場を創出いたします。屋内のみならず、豊かな自然環境の中で感性と創造性を育む体験は、多様な方々が分け隔てなくつながり、活躍することができる場になると考えています。

また、長年市民の皆様に関われてきた公民館は、令和8年度より、コミュニティセンターとして新たな一步を踏み出します。この移行は、地域の皆様の自主的な活動の場として、より自由度の高い施設運営を実現し、地域コミュニティの活性化を目指すものです。

これまで以上に柔軟な施設利用が可能となり、地域の皆様の創意工夫を活かした多様な活動が展開されることで、地域の絆がより一層深まることを期待しています。

これらの取り組みは、私たちが掲げるウェルビーイングの実現に向けた重要な基盤となります。芸術を通じて子どもたちの感性を育み、地域活動を通じて世代を超えた交流を深め、市民の皆様一人ひとりが生きがいを持つて暮らせる地域社会を築いていく未来図を描きながら、着実に準備を進めてまいります。

市民の皆様が、この街に暮らす喜びと誇りを感じ、生き生きと笑顔で過ごせる温かい地域社会を築いていくことが、私の願いです。本年も市民の皆様と共に知恵を出し合い、対話を重ねながら、明るい未来へと歩を進めてまいります。

結びに、本年が市民の皆様にとって希望に満ちた実り多き一年となりますよう心より祈念いたしました。新年のご挨拶とさせていただきます。

子育て支援の推進を注視



黒石市議会議員 工藤 和行

明けましておめでとうございます。市民の皆様には、健やかな新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は、市制施行70周年記念事業や黒石市役所のまちセンターのオープン、また長引く物価高騰対策の「物価高騰対策くろいし応援商品券発行事業」などの諸施策について、市議会としても連携・協力を図りながら、市の意思決定機関としての役割を果たしてきたところであります。

さて本年は、市が少子高齢化・人口減少への対応や安全で安心して暮らせるまちづくりなどの課題に対し、市議会でも議論を重ねてきた学校給食費無償化に続き、中学校の完全給食実施などに取り組みます。

市議会といたしましては、子育て支援の充実を推進する新たなまちづくりの施策進展に大きな期待を抱きながら、施策の進捗を注視し、将来にわたって持続可能な黒石市を目指すため、議会のチェック機能を果たし、市民の皆様の声や御意見をしっかりと受け止め、市政に反映させるよう努めてまいります。結びに市民の皆様にとって輝かしい一年でありますことをお祈り申し上げます。

宮古市・黒石市児童交流事業

未来へつなぐ地域交流



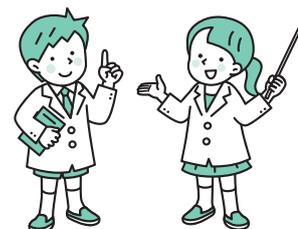
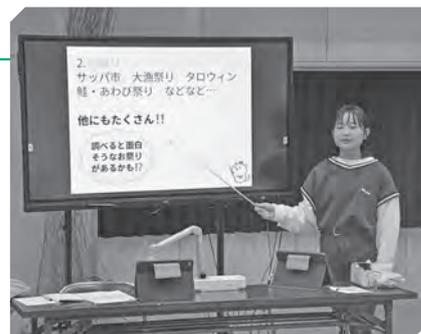
11月21・22日、黒石市と姉妹都市である岩手県宮古市から小学6年生の代表13人が本市を訪れました。今回の交流は、両市の相互理解を図り、これからの未来を担う子どもたちの交流を深めることを目的に行いました。

Day 1 黒石と宮古、それぞれの魅力を共有

1日目は、黒石小学校で歓迎会と児童たちがそれぞれの市の魅力を紹介する発表会を行いました。

発表会では、宮古市の児童が黒石小学校の6年生へ向けて、学校や地域の魅力を発表しました。

黒石小学校の児童は、市制施行70周年にちなんだ市の歴史や鍵盤ハーモニカなどを使った演奏を披露しました。



宮古のいろいろな魅力を教えてくれてありがとう！

宮古市の児童は「黒石小学校の発表を聞いて、黒石についてもっと興味が湧いた」と話し、黒石小学校の児童は「緊張したけど、お互いの魅力を共有できたと思う」と話しました。



Day 2 体験して歩いて食べて感じた黒石の魅力

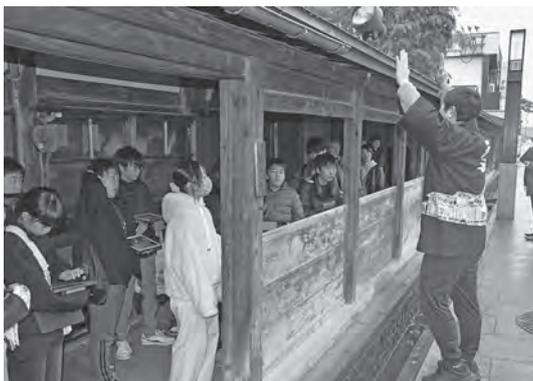
2日目、宮古の児童たちは、津軽こけし館でこけしの絵付け体験をしたほか、横町十文字まちそだて会の解説を聞きながら中町こみせ通り周辺を散策しました。

こけしの絵付け体験では真剣な表情で作業に取り組み、市街地の散策では、中町こみせ通りや日本一古い現役のポンプ車がある第三消防部屯所などを見学しました。

また散策中に黒石やきそばが振る舞われ、児童たちは「太麺でおいしい！」と笑顔を見せていました。



こけしの絵付けは初めてだったので難しかったけど、楽しかったです！



ありがとうございました！
また黒石に来たいと思います！

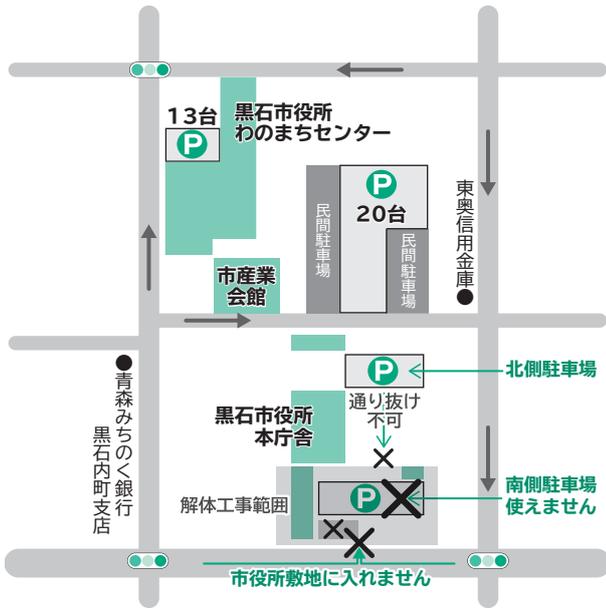


有 料 廣 告

市役所本庁舎駐車場を一部閉鎖

市役所新庁舎建設に係る解体工事に伴い、市役所南側駐車場と公衆トイレが2月1日（土）から使用できなくなるほか、南側駐車場入口からの侵入ができなくなります。

来庁の際は、本庁舎北側駐車場または黒石市役所わのまちセンター駐車場をご利用ください。



[問合せ] 総務課財産管理室

わのまちセンターへ窓口業務が移転

市の窓口業務は「黒石市役所わのまちセンター」へ移転しました。わのまちセンターでの取り扱い業務は下表のとおりです。

わのまちセンター		主な取り扱い業務
1階	市民環境課	戸籍の届け出、住所変更など、マイナンバー、暮らしの相談、ごみ、墓地
	会計課	市税等の支払い
	子育て支援課	児童手当、保育所など、ひとり親家庭支援、子ども医療費、りんごクラブ
	市子ども家庭センター	母子手帳交付、妊産婦・子育て・家庭の相談
2階	福祉総務課	福祉バス、日本赤十字社、弔慰金、障がい、福祉サービス、生活保護
	介護保険課	介護保険料、要介護・要支援認定
	市地域包括支援センター	高齢者等の総合窓口
	健康推進課	各種健(検)診、予防接種
	国保年金課	国民健康保険、後期高齢者医療制度、国民年金
	税務課	税金

予約型乗合タクシーが本格運行

市は、高齢者等の通院や買い物の移動手段を確保することを目的に、北・上十川・浅瀬石の3地区で実証運行していた予約型乗合タクシーの運行本数と乗降場所を**1月6日(月)**から増設します。

予約型乗合タクシーとは？

利用する人からの予約を受け、決められた乗降場所の間を、他の利用者と乗り合わせて運行する新しい公共交通です。予約がないときは運行しないため、利用するには**予約が必要**です。

▼運行開始 1月6日(月)

▼増設した乗降場所 青山会館（上十川地区）

▼運行本数 行きと帰りの運行本数が、1日3往復から4往復に変更

▼運行ダイヤ

		1便	2便(増設)	3便	4便
行き	北部線・東部線・南部線エリア乗降場所発	8:00	9:00	10:00	13:00
帰り	市街地エリア乗降場所発	10:00	11:00	12:00	15:00

▼予約方法 運行時間の30分前までに電話予約

▽北部線（北地区）＝(有)南黒地域交通 ☎53-1116 ▽東部線（上十川地区）＝(有)黒石交通 ☎52-3333

▽南部線（浅瀬石地区）＝黒石タクシー(株) ☎52-3101

[問合せ] 企画課企画調整係

運行日や運賃など詳しくは、市ホームページをごらんください。



市民税・県民税の申告相談

市は、令和7年度市民税・県民税の申告相談を、黒石公民館多目的ホールで実施します。日程等は、本紙と共に配布している「令和7年度市民税・県民税申告のお知らせ」をご確認ください。

※1月6日(月)～3月19日(水)は、職員が申告会場へ移動するため、お問い合わせの回答にお時間をいただく場合があります。

インターネットによる事前予約を開始

混雑緩和のため、申告受け付けの事前予約を行います。予約は、市ホームページ（くらし・手続き→税金）または二次元コードから手続きしてください。**電話予約は受け付けていません。**また、申告内容等によりご案内の時間が前後する場合があります。



申告事前予約は
1月20日10時
受け付け開始

[問合せ] 税務課住民税係

黒石税務署で令和6年分の確定申告をする人へのお知らせ

▼期間 2月17日(月)～3月17日(月)(土・日曜日、祝日を除く)

▼時間 9時～17時

※不動産譲渡(売却)および贈与税の申告相談は、火・木曜日に行います。

▽会場への入場には「入場整理券」が必要です。入場整理券は、当日会場で配付するほか、LINEから事前発行も可能です(「国税庁」を友だち追加して指定の期間内に発行)。

▽スマートフォンやパソコン等を利用して、自宅等からe-Taxで申告することもできます。

[一般相談窓口] 黒石税務署 ☎52-4111

※1月6日(月)～3月17日(月)は、自動音声案内で「0」番を選択、それ以外の期間は「1」番を選択してください。

国民健康保険加入者の皆さんへ 社会保険の被扶養者に

家族に社会保険の加入者がいる場合、条件を満たすと被扶養者として認定され、社会保険に加入することができます。社会保険の被扶養者が増えても、給料から差し引かれる保険料は変わらず、国民健康保険税は社会保険に加入した月から賦課されなくなります。

加入条件

▽被保険者の子、父母、祖父母等の直系尊属、配偶者(内縁関係を含む)、孫、兄弟姉妹などで生計維持関係があること

▽被扶養者となる人の年間収入が130万円未満(60歳以上または障がい者(障害年金該当程度)の場合は180万円未満)で、被保険者の年間収入の2分の1未満であること

届け出方法など、詳しくは家族の勤務先の社会保険事務担当へお問い合わせください。

また、社会保険へ加入したときは、国民健康保険を脱退する手続きが必要です。

[問合せ] 国保年金課国保給付係

国民健康保険 短期被保険者証の交付について

国の法改正により、令和6年12月2日から従来の国民健康保険被保険者証(以下「保険証」)は発行されなくなり、マイナ保険証(保険証の利用登録がされたマイナンバーカード)を基本とする仕組みに移行しました。

短期被保険者証(以下「短期証」)も発行されなくなりますので、現在交付済みの短期証の有効期限(令和7年1月31日)以降は短期証を更新する必要はありません。

2月以降に医療機関等を受診の際は、窓口でマイナ保険証または資格確認書をご提示ください。資格確認書はマイナ保険証をお持ちでない人に送付します。

※保険税を滞納し、納付相談に応じないときは、特別療養費(医療機関等で診療を受ける際に医療費を一旦全額支払い)の支給対象者となる可能性があります。詳しくはお問い合わせください。

[問合せ] 国保年金課国保給付係

償却資産に係る固定資産税の申告を

提出期限
1月31日(金)

固定資産税は土地や家屋のほか、償却資産（事業用資産）も課税の対象となります。令和7年1月1日時点で市内に償却資産を所有している個人や法人は、償却資産の申告が必要です。

償却資産とは

工場や商店などを経営したり、駐車場やアパートを貸し付けている個人や会社などが、その事業のために用いることができる構築物、機械、器具、備品などの固定資産を償却資産といいます。

構築物	機械および装置	車両および運搬具	工具・器具および備品
外構工事(門、フェンス、駐車場の舗装など)、看板(広告塔)など	太陽光発電設備、農機具類、加工・製造機械など	構内運搬車、大型特殊自動車など	机、椅子、応接セット、パソコン、自動販売機など

太陽光発電設備について

事業のために用いている太陽光発電設備は、発電出力量や売電方法にかかわらず、償却資産の申告が必要です。なお個人の場合も、発電出力量や売電方法により事業とみなされる場合は申告が必要です。

個人で住宅用として設置している場合で、余剰電力の売電がない人や発電出力量が10キロワット未満の場合は、事業用資産とはなりませんので申告の必要はありません。

▼申告方法 12月下旬に対象者へ送付する償却資産申告書に、令和7年1月1日時点の資産の所有状況を記入し**1月31日(金)まで**に提出（eLTAXによる電子申告も可）

※新たに事業を始めた人や申告書類が届かない人は、お問い合わせください。

詳しくは、市ホームページをごらんください。申告書は窓口で配布しているほか、市ホームページからダウンロードできます。



[問合せ] 税務課固定資産税係

20歳になったら国民年金

国民年金は、老後の暮らしをはじめ、事故などで障害を負ったときや家族が亡くなったときに必要な給付を行い、健全な国民生活の維持・向上に寄与することを目的としています。

日本に住む20歳以上60歳未満の人は、国民年金への加入が法律で義務付けられています。

■年金の種類

老齢基礎年金	65歳から、生涯にわたって支給される年金
障害基礎年金	病気やけがで障害が残ったときに支給される年金
遺族基礎年金	加入者が亡くなったとき、子のある配偶者または子に対して支給される年金

■各種制度

学生納付特例制度	学生本人の前年の所得が一定額以下の場合、保険料の納付が猶予される制度
納付猶予制度	学生以外の50歳未満の人で、本人および配偶者の前年の所得が一定額以下の場合、保険料の納付が猶予される制度

[問合せ] 国保年金課国民年金係

国民健康保険の手続きはお早めに

職場の健康保険に加入した人や、職場の健康保険を脱退した人は、14日以内に国保年金課窓口で切り替えの手続きをしてください。

マイナ保険証をお持ちの人も、手続きが必要です。

手続きの際は、本人確認書類(運転免許証、マイナンバーカードなど)と次の書類をご持参ください。

国保に「加入」するとき

- ・職場の健康保険などを脱退した日が分かる書類
- ・職場の健康保険などの被扶養者からはずれたことが分かる書類(被扶養者のみ)

国保を「脱退」するとき

- ・国民健康保険資格確認書または国民健康保険被保険者証 と 下記のいずれか
- ▽職場の健康保険資格確認書または健康保険被保険者証
- ▽職場の資格情報のお知らせ
- ▽職場の健康保険に加入したことが分かる書類

[問合せ] 国保年金課国保給付係

会計年度任用職員登録者を募集

市は、会計年度任用職員登録者を募集します。
4月任用希望者は、2月上旬に面接を行います。

▼**募集職種**▽資格等が必要な職種＝バス運転手、管理栄養士、社会福祉士など▽資格等が不要な職種＝事務員、技能主事、学校給食員、学校用務員、特別支援教育支援員、庁舎夜警員など

▼**任用期間**4月から12か月間（短期間で任用する場合あり）

▼**勤務時間**8時15分～17時のうち6時間または7時間（1時間の休憩あり）

▼**申込方法**市ホームページまたは窓口で配布する指定の登録申込書を自筆で記入し、顔写真を貼付のうえ登録希望者本人が持参

▼**受付期限**4月任用希望者は1月31日（金）

※4月以降の任用希望者も随時受け付けます。

【問合せ】総務課職員係

登録申込書は、市ホームページからダウンロードできます。



不妊治療費を助成

市は、不妊治療で生殖補助医療を受けている人の保険診療のうち、自己負担分を助成します。

▼**助成対象**医療保険が適用となる生殖補助医療（体外受精、顕微受精）

▼**対象期間**令和6年4月1日～令和6年6月30日に治療を開始した人（4月以前に治療を開始した人も上記期間に支払いをしていれば対象）

※令和6年7月1日以降に治療を開始した人は「県不妊治療費助成」の対象となる可能性があります。

▼**助成額**上限5万円（医療保険各法に基づかない治療に要した費用や交通費等の治療に直接関係のない費用は除く）

▼**申請方法**3月31日（月）までに窓口で申し込み

【問合せ】市こども家庭センター

詳しくは、市ホームページをごらんください。



パブリックコメントを実施

市は、健康寿命の延伸・健康格差の縮小に向けた取り組みを総合的に推進するための「健康くろいし21第3次計画」の策定にあたり、意見や情報を募集（パブリックコメント）します。

内容	健康くろいし21第3次計画（案）
募集期限	1月24日（金）（必着）
対象	▽市内に住所を有する人 ▽市内に事業所を有する個人および法人、その他の団体 ▽市内に通勤または通学する人
計画の閲覧方法	窓口または市ホームページ
提出書類	所定の様式か任意様式に、氏名（法人等の場合は名称および代表者氏名）、住所、在住・在学等の別、連絡先、件名を明記
提出方法	持参、郵送、FAX、メール
その他	詳しくは、市ホームページをごらんください。 ※寄せられた意見等は、策定の参考とするほか、個人情報を除き市ホームページで公表します。
問合せ	健康推進課 〒036-0396 黒石市市ノ町11-1、FAX52-6191 ☒ kenkou-suishin@city.kuroishi.aomori.jp





シャインマスカット生産者の集い

市は、市内でシャインマスカットを栽培している生産者の栽培技術の向上および交流を深めるため「シャインマスカット生産者の集い」を開催します。参加料は無料ですので、興味がある人はぜひご参加ください。

- ▼日時 2月7日(金) 16時
- ▼場所 わのまちセンター1階イベントホール
- ▼対象 シャインマスカット生産者または栽培に興味がある市民
- ▼申込方法 1月31日(金)までに電話で申し込み
[問合せ] 農林課りんご農産係



あつまれ！ひろさき圏域移住者交流会

弘前圏域8市町村(黒石市、弘前市、平川市、藤崎町、板柳町、大鱧町、田舎館村、西目屋村)は、県外から弘前圏域市町村へ移住した人や移住を検討している人を対象としたイベントを開催します。

- ▼日時 1月19日(日) 14時~16時
 - ▼場所 HIROSAKI ORANDO ギャラリースペース(弘前市百石町47-2)
 - ▼対象 県外から弘前圏域8市町村への移住者、移住検討者
 - ▼定員 20人程度 ▼参加料 500円(ドリンク代)
 - ▼申込方法 1月13日(月・祝)までに、二次元コードから申し込み
- ※希望者は、交流会後に行う「まちあるき」(1時間程度、料金1,500円)に参加できます。
[問合せ](株)ORANDOPPLUS ☒ orandoplus@gmail.com

二次元コードから申し込みフォームへ入力してください。



有 料 広 告



黄美香メロン^{れきこう} 礫耕栽培実証実験報告会

市が、農産物のブランド化に取り組んでいる黄美香メロンの礫耕栽培(軽石にメロンの苗を植え、養分を溶かした水を与えるプランター栽培)実験成果の報告会を開催します。参加料は無料ですので、興味がある人はぜひご参加ください。

- ▼日時 1月20日(月) 13時30分
- ▼場所 わのまちセンター1階イベントホール
- ▼対象 メロンの栽培に興味がある市民
- ▼申込方法 1月15日(水)までに電話で申し込み
[問合せ] 農林課りんご農産係



下水道を正しく使用しましょう

近年、下水道の詰まりや臭いなどが問題になっています。ルールを守り下水道を正しく使用しましょう。

油類を流さない

排水口に食用などの油を流すと、冷えて固まり排水管が詰まります。

生ごみを流さない

調理くずなどの生ごみを流すと、詰まりや悪臭の原因になります。

薬品類を流さない

薬品類を流すと、排水管や下水道管が変形したり溶けたりします。

[問合せ] 上下水道課施設係



家畜飼養者は定期報告を忘れずに

家畜(鶏を含む)飼養者は、毎年2月1日時点の頭羽数を定期報告することが、法律で義務付けられています。

- ▼報告対象 鶏(青森シャモロック、比内地鶏、烏骨鶏、軍鶏、チャボ、声良鶏、金八など)、あひる、うずら、きじ、ほろほろ鳥、七面鳥、だちょう、牛、馬、豚、山羊、めん羊、いのしし、鹿
- ▼提出方法 農林課または県つがる家畜保健衛生所およびホームページで配布している定期報告書を、農林課へ郵送または持参
- ▼提出期限 2月28日(金)

[問合せ] 農林課りんご農産係、西北地域県民局つがる家畜保健衛生所 ☎0173-42-2276



110番は 事件・事故の緊急ダイヤル（緊急通報）

警察では、毎年1月10日を「110番の日」としています。110番は事件、事故を緊急通報するための番号です。緊急性のない通報は、緊急、避難、事故の対応を遅らせる原因になります。急がない相談や問い合わせ、意見要望は、警察安全相談電話「#9110」や最寄りの警察署、交番、駐在所へお願いします。

[問合せ] 黒石警察署 ☎52-2311



献血功労者を表彰

市と市献血推進協議会は「献血功労者」を表彰しています。申し込みされた対象者には後日、感謝状と記念品を贈呈します。

▼**対象** 献血回数が5・10・20回以上で、過去に当該表彰を受けていない市民

▼**申込方法** 献血手帳または献血カードを窓口へ持参

▼**申込期限** 1月31日（金）

[問合せ] 福祉総務課福祉総務係



夜間納税相談の予約が可能に

市が、毎月5・15・25日（休日の場合は翌開庁日）の17時～19時に受け付けている夜間納税相談の予約が可能になりました。

▼**予約方法** 電話、窓口、市公式LINE

▼**予約締切** 夜間納税相談希望日の前日（休日の場合は直前の平日）の17時まで

※4月以降は完全予約制とし、予約していない場合は相談できませんのでご注意ください。

[問合せ] 税務課収納債権係



県道13号大鰐・浪岡線（八間道路） 電線共同溝工事のお知らせ

県は、1月6日（月）から3月21日（金）（予定）まで、県道13号大鰐・浪岡線（八間道路）の山形町から寿町にかけて、電線共同溝工事（試験掘削）を行います。ご不便をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願いします。

[問合せ]（株）桜庭建設 ☎54-8550



黒石病院職員採用試験（医療系職員） 二次募集

黒石病院は、市職員候補者採用試験を実施します。

▼**日時** 2月2日（日）

▼**申込期限** 1月24日（金）

[問合せ] 黒石病院事務局総務人事係 ☎52-2121



詳しくは、ホームページをごらんください。



農家民宿・民泊の新規開業者向け研修会

県は、農家民宿・民泊の開業に必要な関係法令や、取り組んでいる人の体験談を紹介する研修会を開催します。農業者以外の人でも取り組むことができますので、興味がある人、人との交流が好きな人はぜひご参加ください。

▼**日時** 2月14日（金）13時15分～15時

▼**場所** 県武道館第2・第3会議室（弘前市豊田2丁目3）

▼**申込方法** 2月10日（月）までに電話またはメール

[問合せ] 県構造政策課 ☎017-734-9534、

✉ nouseonkasei@pref.aomori.lg.jp



参加申込書は、二次元コードからダウンロードできます。

有 料 広 告

11
5 バドミントン全国大会出場を報告



東北小学生バドミントン大会で入賞した、宇野颯真さん（六郷小6）、佐藤愛瑠さん（黒石東小6）、福士叶彩さん（黒石小4）、湯瀬愛叶さん（黒石小4）と、県代表メンバーに選ばれた久塚麗桜さん（黒石小6）が兵庫県で開催される全国小学生バドミントン選手権大会に出場することを報告しました。選手たちは「全力でプレーしたい」と抱負を話しました。

10
24 キッズハローワークで小学生が職業体験



市小学生キッズハローワークが、スポカルイン黒石で開催されました。この事業は、市内の小学5年生を対象に職業体験を行い、自分の将来や地域社会への関心を持つきっかけの場を創出することが目的。

今回は、16の企業等が参加し、児童たちはそれぞれのブースを回り、仕事への理解を深めていました。

11
16 黒石りんごまつり



11月16・17日に「第33回黒石りんごまつり」がスポカルイン黒石で開催されました。

屋外ではりんご販売や屋台、姉妹都市である宮古市のブースが設置され、メインアリーナではステージイベントや物産販売、健康づくりに関する催しなどが行われました。

会場には2日間で延べ1万2,000人が来場し、にぎわいを見せました。

11
13 消費税の役割や仕組みが分かるクリアファイルを寄贈



全国間税会総連合会黒石間税会（村上末次会長）が「世界の消費税クリアファイル」230部とポスターを寄贈しました。

クリアファイルには、消費税の役割や仕組み、世界で消費税を導入している国の税率などについて掲載。

高樋市長は「ありがとうございます。有効に活用させていただきます」と述べました。

11/21 安達英子さんの100歳をお祝い



11月19日で100歳を迎えた安達英子さんの百歳顕彰が、住宅型有料老人ホームあんずの杜で行われました。お話しをするのが好きで、洗濯物を畳むなど職員の手伝いをしたりして明るく過ごしている安達さん。

高樋市長は「お顔の艶をみれば120歳まで大丈夫。これからも元気にお過ごしください」と話しました。

11/20 明治安田生命が善意の寄附



明治安田生命保険相互会社青森支社（日野研太支社長）が本市に91万2,600円を寄附しました。寄附金は、豊かな地域社会づくりに貢献する「地元の元気プロジェクト」の一環で、職員からの募金と会社拠出金を合わせたもの。日野支社長は「地元が元気であることが重要だと考えている。ぜひ有効に活用してほしい」と話しました。

11/25 東奥信用金庫が受賞を報告



東奥信用金庫（小中雅彦理事長）が市長室を訪れ、令和5年11月にオープンした黒石支店の建物がふるさとあおもり景観賞の民間建築物部門で、最優秀賞を受賞したことを報告しました。この賞は県内の良好な景観づくりやまちづくり活動を表彰するもので、小中理事長は「駐車場も広がったので、イベントなどがある時はぜひ活用してほしい」と話しました。

11/22 頑張ってくれてありがとう！園児から感謝のメッセージ



勤労感謝の日になみ、アリス保育園の年長児10人が市長室を訪れ、高樋市長に似顔絵付きのメッセージカードとシクラメンの花を贈りました。

子どもたちは「いつも黒石のためにお仕事を頑張ってくれてありがとうございます。これからも頑張ってください」と声をそろえ、元気を届けました。

市制施行70周年 記念式典・音楽会を開催

12月15日、市は市制施行70周年を記念して、式典と音楽会を開催し、690人が来場しました。

式典では国歌斉唱と市民憲章唱和が行われ、高樋市長が「いくつになっても住みよいまち、次世代につなぐふるさと黒石の実現に取り組み、市民の皆様と一緒に新たな黒石を築いていきたい」と式辞を述べました。また、来賓からの祝辞やたくさんの祝電も披露されました。

続いて行われた音楽会は、にゃんごすたーのドラム演奏で始まり、ホイドーズや黒石少年少女合唱団など5団体が歌や演奏を披露。最後は、出演団体や関係団体で結成された総勢100人を超える「黒石ビッグバンド」が、迫力あふれる合唱で観客を魅了しました。



有 料 広 告

公民館・地区センターで地域健康づくり相談 無料

市は、地域の健康づくり推進のため、健康や生活・介護に関する相談、さらに野菜摂取量測定などを月1回実施しています。地区担当保健師と生活支援コーディネーターが公民館等に出向き、相談などを行いますので、お気軽にお越しください。

場所	実施日	実施時間	内容		
			相談事業	野菜摂取量測定	健康づくり体験*
中郷公民館	1月8日(水)	9時～16時	○	○	—
浅瀬石公民館	1月15日(水)		○	○	—
中部公民館	1月15日(水)		○	○	○ 13時～15時
山形公民館	1月16日(木)		○	○	○
東公民館	1月16日(木)		○	○	○
牡丹平公民館	1月17日(金)		○	○	○ 13時30分～15時30分
西部地区センター	1月21日(火)		○ 午前のみ	○	○
追子野木公民館	1月24日(金)		○	○	—
上十川公民館	1月24日(金)		○	○	—
六宝館	1月31日(金)		○	○	—

*健康づくり体験(血管年齢、握力、肌の水分と油分測定)

【問合せ】健康推進課成人保健係



馴染みの顔が集まる場所「ペチュニアの会」を紹介

また仲間と楽しく笑い合いたい

ペチュニアの会は、令和6年4月に解散した老人クラブ「大町福和会」のメンバーで構成された団体で、70代から90代までの会員7人が毎月集まり交流を深めています。

老人クラブがあった頃から定期的にサロン活動を行っていましたが、解散後も「定期的にみんなで集まって、楽しい時間を過ごしたい」という声があったことをきっかけに、ペチュニアの花言葉にちなみ「心が安らぐ居場所」という思いを込め、会を結成しました。



活動内容

活動前に血圧測定を行い、健康管理に努めています。また、トランプやかるた、風船バレーなど仲間と楽しめるさまざまな活動を行っていますが、トランプは会員に特に人気です。

頭や指先を使うゲームなので認知症予防にもなり、みんなで笑い合いながら楽しい時間を過ごしています。

活動日・場所

毎月第1日曜日の13時～15時に、大町会館で活動しており、月2回活動する日もあります。

【問合せ】

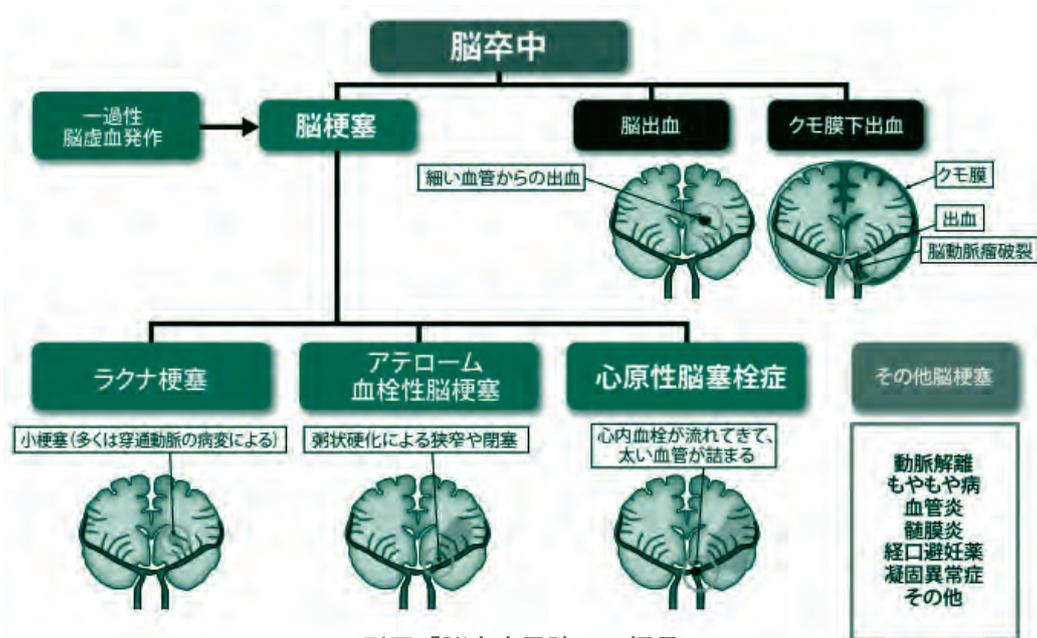
市地域包括支援センター包括支援係



自分の身体の状態を把握するために健診を受けましょう

脳卒中とは

脳卒中は大きく分けて、①脳に血液を送っている動脈が狭くなったり詰まることで脳の血流が悪くなり、脳が壊死に陥る「**脳梗塞**」、②脳の細い血管が破れて脳の中で出血する「**脳出血**」、③脳の主に太い動脈にできた、こぶのように膨らんだもの(動脈瘤)が破れて出血する「**クモ膜下出血**」の3つに分類されます。

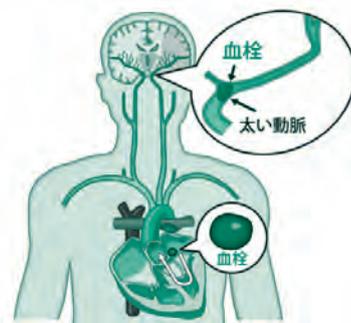


引用:「脳卒中予防への提言」

心房細動による脳卒中

さらに、脳梗塞は「ラクナ梗塞」「アテローム血栓性脳梗塞」「心原性脳塞栓症」に分類されます。その中でも「心原性脳塞栓症」の最大の原因は、心房細動(不整脈の一種で、心房と呼ばれる心臓の一部が細かく動いてけいれんしている状態)といわれています。

心房細動があると、心臓の中で血液が停滞し、そこに血栓(血のかたまり)ができやすくなります。この血栓が、動脈の中を移動して脳の血管で詰まると、脳梗塞を引き起こします。心房細動による血栓は大きな血栓のため、脳の太い血管で詰まり、重症になりやすいことが分かっています。



引用:「脳卒中予防への提言」

心房細動を発見するために

心房細動は、心電図検査により早期発見が可能です。人間ドックや健康診断などを受けて、自分の身体の状態を把握することが大切です。

また、市では健康づくり相談事業を実施しています。本紙19ページで詳しく紹介していますので、健康について相談のある人はぜひご利用ください。



国民健康保険加入者へ

市は、心房細動による脳卒中予防対策を強化しており、特定健診受診者全員に心電図検査を実施しています。

今年度、特定健診をまだ受診していない人は、ぜひ受診しましょう。

[問合せ] 国保年金課国保給付係

笑顔がいっぱい「げんきッズ」!

3歳児健診を受診した元気な子どもたちを掲載しています。



いしだ
いおりさん



きたやま
ゆうやさん



くどう
はるとさん



くどう
ろいさん



こがわ
ゆきさん



さとう
なぎさん



じん
しょうまさん



たかだ
りのさん



まつもと
りおさん



むらもと
ひてんさん

ヘルシーレシピ

あかめともやしのナムル

~不足しがちな食物繊維を乾物で手軽に補おう~



材料(2人分)

乾燥わかめ	6g
もやし	80g
ツナ(水煮缶)	1缶
しょうゆ	小さじ1
ごま油	小さじ1/2

1人分の栄養素

エネルギー44kcal/たんぱく質6.4g
脂質1.4g/食塩相当量0.8g

監修:市食生活改善推進委員会

作り方

- ① 乾燥わかめを水で戻し、水気を切る。
- ② もやしをさっと茹でて冷水にさらし、水気を切る。
- ③ ボウルに①、②、水気を切ったツナ、しょうゆ、ごま油を入れて和えたら完成。

有 料 広 告



ドクターズレター

Doctor's Letter



このコーナーでは、市国民健康保険黒石病院の医師が、健康に関する情報を皆さんにお届けします。今号は、耳鼻咽喉科部長の野呂雅司先生です。

こんにちは。黒石病院耳鼻咽喉科の野呂と申します。今回は、難聴と補聴器をテーマにお話しします。

難聴と認知症の関係について

難聴の原因は動脈硬化や騒音などさまざまですが、代表的なものに加齢による難聴があります。これは、加齢により左右とも同程度に進行する難聴で、主に高音域から聞こえにくくなります。

近年の研究で、難聴により、音の刺激や脳に伝えられる情報量が少なくなると、脳の萎縮や神経細胞の機能低下が進み、認知症発症に大きく影響することが明らかになりました。

さらに難聴が原因でコミュニケーションが上手くいかなくなると、人との会話を避け、次第に抑うつ状態となって社会的に孤立してしまう危険もあり、このことも認知症の危険因子と考えられています。



耳鼻咽喉科部長 野呂雅司先生

補聴器を利用しましょう

適切な「聞こえ」を維持して脳を活性化させるためにも、補聴器を使うなど難聴に正しく対処しましょう。さらに家族や友人とのコミュニケーションを楽しむことは、難聴の不便を抑えるだけでなく、認知症の予防や発症を遅らせる可能性が期待されています。

補聴器は使ったからといって、すぐに音が聞こえやすくなるわけではありません。むしろ使い始めは、日常生活の音のレベルでさえ不快に感じます。これは音を認識して「聞く」役割を担う脳が、十分な音の刺激がない状態が長く続いたことで、音の刺激の少ない世界に慣れた「難聴の脳」になってしまったためです。長い時間をかけて段階的に補聴器の音量を上げるトレーニングを行い、脳が補聴器の音に慣れていくことが大切です。

認知症予防のためにも、補聴器を利用して正しく「難聴」に対処しましょう。

編集後記

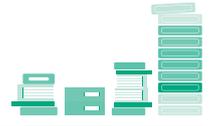
■1年間お疲れ様でした。皆さんはどのような1年を過ごしましたか？私は、6月号から広報くろいしの編集に携わることとなり、毎日必死に過ごしていくうちに私自身、どこか脱皮したような気がします。今年は、チャンスがあれば長蛇を逸することなく、竜頭蛇尾に終わることがないよう充実した1年にしていきたいと思います！引き続き、本年も広報くろいしのご愛読をよろしくお願いいたします。

(蛇)
JAPANESE NEW YEAR!





図書館ぜより



オリンパス黒石市立図書館からのお知らせ

1月5日～25日は「あおり冬の読書習慣」

県読書推進運動協議会は、長い冬の過ごし方として、家族そろって読書する習慣を浸透させるために「あおり冬の読書週間」を実施します。

期間中は、県内の各図書館で「ウチの推し本」を共通テーマとした一斉展示を行っています。市立図書館でもスタッフおすすめの本を展示していますので、この機会にぜひご来館ください。



1月のおはなし会

1月のおはなし会は「おに」をテーマに、おにの絵本の読み聞かせや工作教室を行いますので、ぜひご参加ください。

▼日時 1月26日(日) 10時～10時30分

▼場所 図書館市民活動室

▼内容 絵本や紙芝居等の読み聞かせ、工作教室

▼参加料無料



[問合せ] オリンパス黒石市立図書館 ☎・FAX53-2188

今月のおすすめ本

一般書「ちゃっけがいる移動図書館」

高森美由紀／著 中央公論新社

図書館に非正規職員として勤務している主人公。将来の夢はない、貯金もない。ないない尽くしの毎日が、子犬の「ちゃっけ」を拾った日から激変!? 青森×図書館×可愛いわんこの感動物語。



児童書「くまくまパンまつり」

西村敏雄／作 あかね書房

今日は年に一度のパンまつりの日。くまのパン屋、さるのパン屋、ひつじのパン屋など、森の広場に動物のパン屋さんが集まり、動物たちは、果物や木の実、卵と食べたいパンを交換して…。



ちょこっと手話っち

市は
手話言語条例を
制定しています

手話には左右の決まりはありませんので、自分の利き手で表現できます。手話を知り、コミュニケーションの輪を広げていきましょう。

寒い



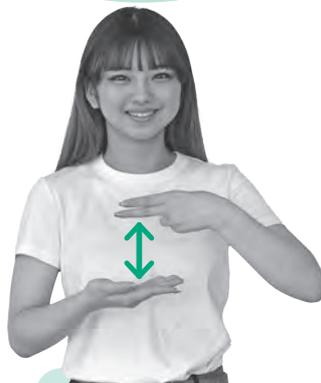
両手を握り、脇を締めて、ブルブル手を震わせる。
("怖い"を表現する場合も同じ)

暖かい



暖かい空気が上がってくるイメージで手を回す。

食べる



箸の形を作って食べる動作。

寝る



こぶしに向けて頭を倒す。



発行編集 企画財政部広報情報システム課
黒石市役所 〒036-0396 青森県黒石市大字市ノ町11番地1号
 TEL 0172-52-2111(代表) FAX 0172-52-6191
 HP <http://www.city.kuroishi.aomori.jp>
 E-mail kuroishi_hp@city.kuroishi.aomori.jp

黒石市公式LINE
 友だち追加は
 こちらから▶
 LINE ID:@kuroishicity



広報くろいし No.1370 2025年1月号

※この広報紙は再生紙を使用しています。